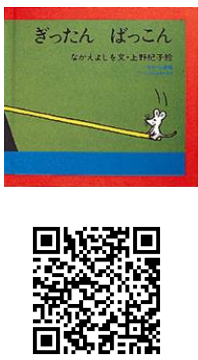


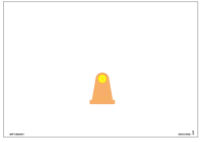
1 歳児クラス 10月 第3回 「ぎったんばっこん」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	・講：「♪ぎったん、ばっこん、シーソーって知ってる？」シーソー遊びをまだ体験したことがない子にも遊び方を伝え、興味を持たせてから絵本を始める。(大型積み木と板などを使って実際にシーソー遊びの動きを演出すると分かりやすい。)	教材 ★絵本 ★iPad(シアターセット)	
	①登場した動物やシーソーに興味を持ち「ぎったん ばっこん」の動きに注目させる。 ②登場する動物の大きさや数に興味を持たせる。子ども達の反応に合わせて、問いかけながら進行する。また「大きい>小さい」「高い>低い」「重い>軽い」などのことばを入れながら比較のことばにも興味を持たせる。	保育士の役割 ・子どもと一緒に なってストーリーや 会話を楽しむ	

がくしゅうタイム

活動①		興味	シーソーの動きに興味を持ち実際に自分で動かして楽しむことができる	
設問	「ぎったん ばっこん」と、シーソーを動かしてみよう。			
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「ぎったん ばっこん、動物さん達楽しそうだったね。」 ・保：「先生、みんなでぎったん ばっこん、遊びませんか？良いものありますよ」と大型シーソー提示（ボードに貼って固定して提示）。 			教材 シーソー（両面テープ付き） 1人1枚 提示用大型シーソー（両面テープ付き） ※シーソーの棒を動かしやすい様に、事前に両端一角を少し折り、立てておく おはじき お皿
	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「ありがとう！」と提示用シーソーを受け取り、「ぎったん、ばっこん」のことばに合わせてシーソーを動かしその楽しさを伝える。 「みんなもぎったん ばっこん、遊びたいね。みんなの分もありますか？」 ・保：「みんなの分もありますよ！」と配布プリント提示。 「今日はおはじきを2個と交換です」 			保育士の役割 ・大型シーソー提示 ・配布用シーソー提示、配布 ・思うように動かせない子のフォロー
活動内容	数にチャレンジ ・講：子ども達と一緒に数えながら、両手で「2個」のおはじきを取り、シーソーと交換する見本行動を行う。 ※「ください」「ありがとう」のことばのやり取りもしっかり見せていく。			
	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「ぎったん ばっこん、シーソーやりたい人！」子ども達の意欲を引き出し、子ども達にもおはじきを「2個」取らせ「『ください』言えるかな？」とできる限り子どもからの意思表示を促してシーソーを渡していく。(意思表示は手を出すだけでも良い) ・子：「ぎったん ばっこん」のことばと共に動かしてみる。 ※割り鋸の留まり方によってシーソーが動きにくいものがあります。事前に動かし、動きにくい場合は調整をお願いします。 (このままく活動②>へ) 			
活動②		比較	2種の動物カードを使って「大きい・小さい」「重い・軽い」「高い・低い」のことばを理解し、シーソーを動かして楽しむことができる。	
設問	シーソーに動物カードを乗せましょう。2種類の動物の大きさ（重さ）に合わせてシーソーを動かしてみよう。			実物参照
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・講「あれ…誰か来たよ」 ・保：「パタパタ～ぼくもの・せ・て」と提示用鳥カードを講師のシーソーの片側上に上がっている方に乗せ「ぎー」と言いながらシーソーを下げる。 			教材 シーソー（活動①と同じ） 動物カード2種 提示用動物カード2種 皿（テープゴミ用）
	<ul style="list-style-type: none"> ・講：「鳥さん遊びにきたのね」 ・保：「どっしん！どっしん！ぼくもの・せ・て」と提示用ゾウカードを講師に渡す。 ・講：「どうぞ。ゾウさんはこっち…（鳥と反対側に乗せながら）ゾウさん乗ったらどうなるかな？」と次の動きに期待を持たせて「ばっこん！！」と重さとシーソーの動きを強調するように演出する。また「大小」「高低」「重軽」の比較のことばを使いながら「小さくて軽い鳥さん上がって高くなちゃった！鳥 			保育士の役割

<p>さんの方に先生乗ったら？ぎったん！！下がって低くなちゃったね」など見本の遊びを展開するする。</p> <p>※カードはシーソーと一体化した方が子ども達は動かしやすいので見本の段階で提示用にも付けて見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保：「ぼく達もの・せ・て」と配布用動物カードを提示。 ・講：「みんなのシーソーにも乗せてあげよう」とカード2種配布。 ・子：動物カードの名称を確認後、シーソーにカードを付けて遊びを楽しむ。 ・講保：動物カードや教室にある具体物（キューピーなどシーソーの大きさにあったもの）を持って「乗せて！」と個別に子ども達のシーソーへ乗せていき、2種の比較に変化を与え、より理解を深めさせていくのも良い。 ・講：「みんなでぎったん ばっこん、楽しかったねー。動物さんありがとうって言うてるよ。今日はシーソーと一緒ににお家に連れて帰ってまたお家でも遊んであげようね」と称賛。シーソーを回収して終了する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・トリカード持って登場 ・ゾウカード持って登場 ・配布用動物カード提示、配布 ・理解できない子のフォロー ・個別に声掛け、盛り上げる ・称賛 ・プリント回収
--	--	--

数チャレ	ねらい	数	教材
設問	おはじきを「2個」取ってシーソーと交換しましょう。		
活動内容	※＜活動①＞の中で実施します。		
			保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	身体や手を動かしながら、シーソーの傾きを体感させることが出来たか
活動①興味	子ども達が興味を引くような提示が出来たか
活動②比較	「重い・軽い」を理解出来るように出来たか
数チャレ	活動①に含む：確実に全員が「2個」取れるようになって来ているか

楽習タイム♪

*** テーマ・表現 ***

シーソーごっこ

＜楽しみ方＞

- イラストの様に手をつないで引っ張りっこのポーズで前後に揺れながら「ギッタンバッコン」をキーワードにシーソーを身体で表現してみましょう。
- 体の小さい子は、膝に乗せて抱っここのポーズで揺れても良いですね。

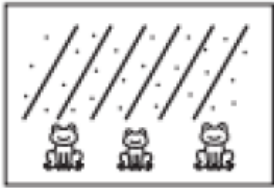


身体が触れ合うコミュニケーションゲームは子どもの心の安定にもつながりますよ。



今月のえかきリズム

*** あ め ***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

